

下山 紗代子

(一社)リンクデータ
代表理事/

デジタル庁
オープンデータ伝道師
宇都宮市DX専門官/他

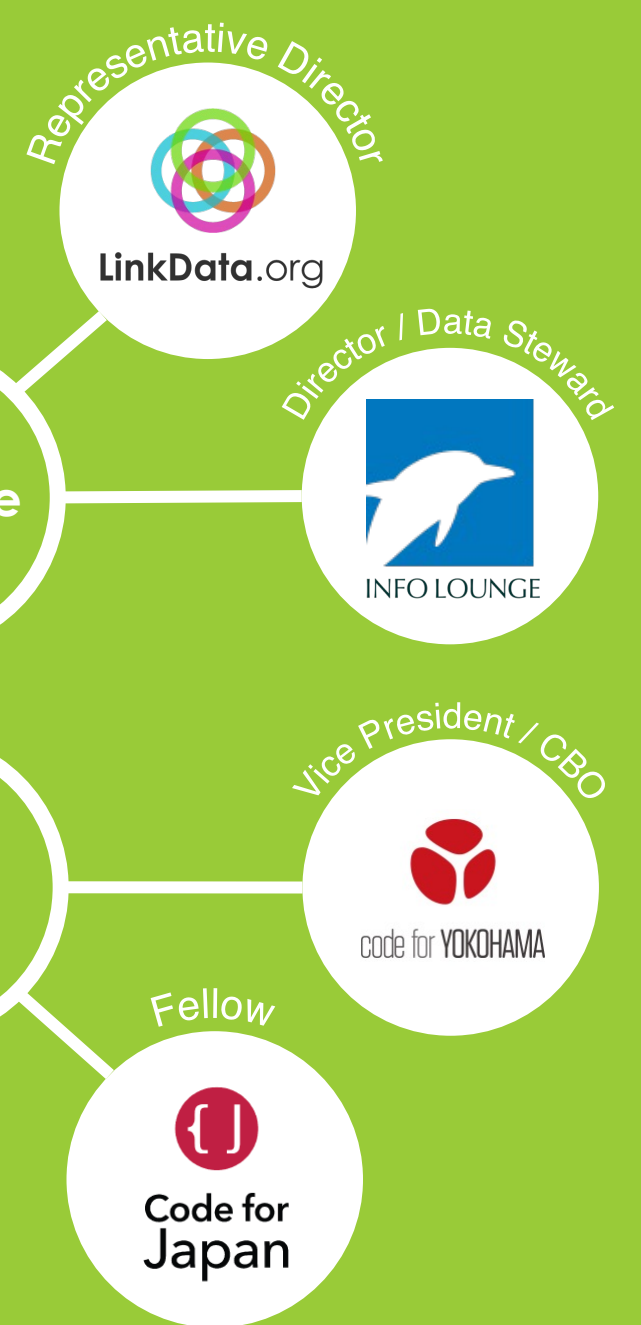
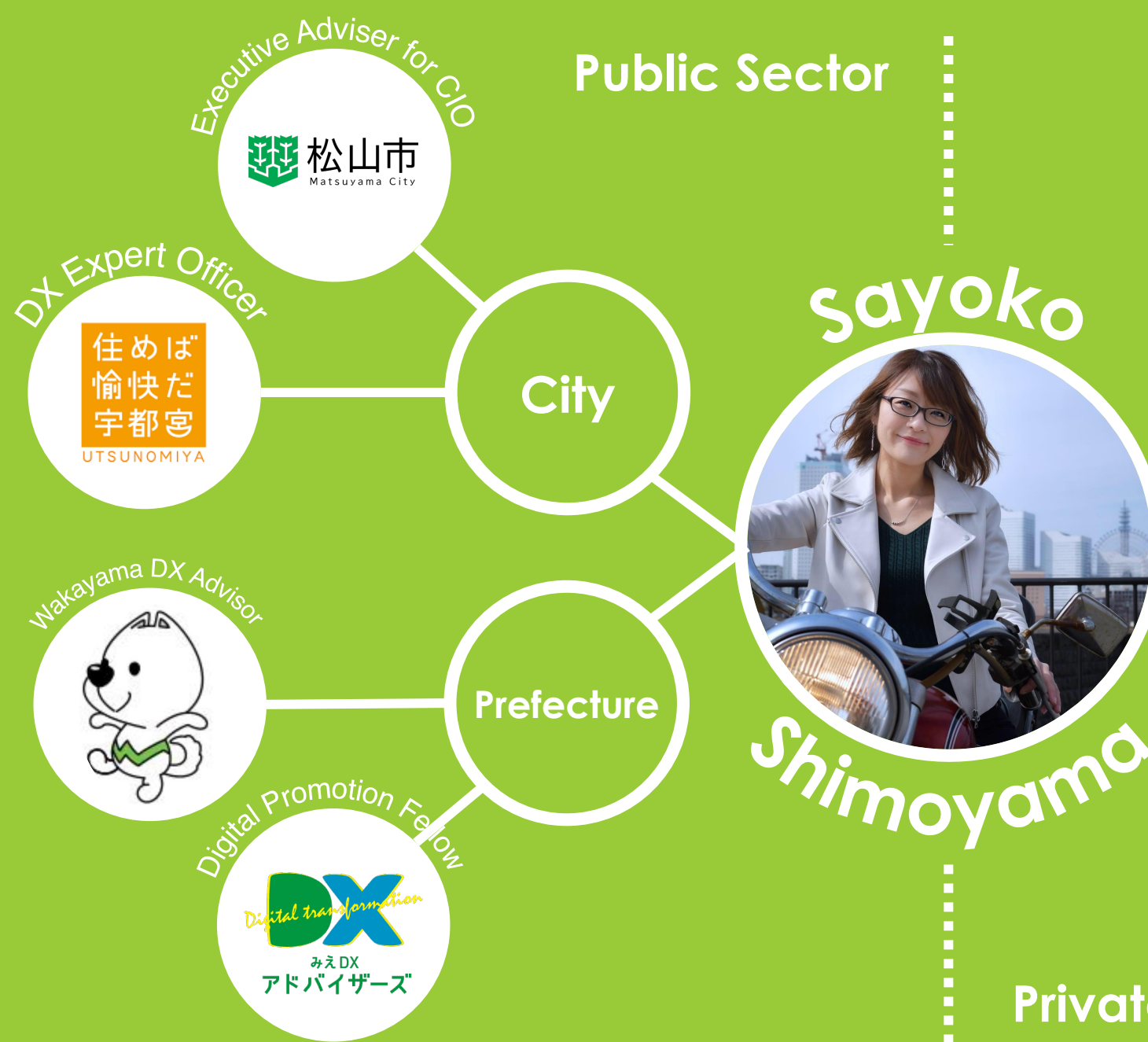
2025年11月26日（水）

TOHOKU DX GATEWAY
2025

生成AI & システム標準化で
変わる自治体業務のこれから

AI・BIを
活用するために
まずはデータを
整えよう

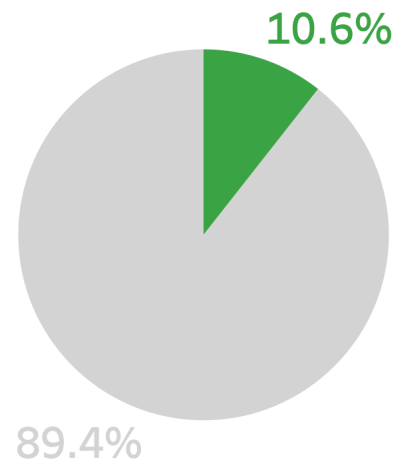
Public Sector



Private Sector

自治体支援実績ダッシュボード

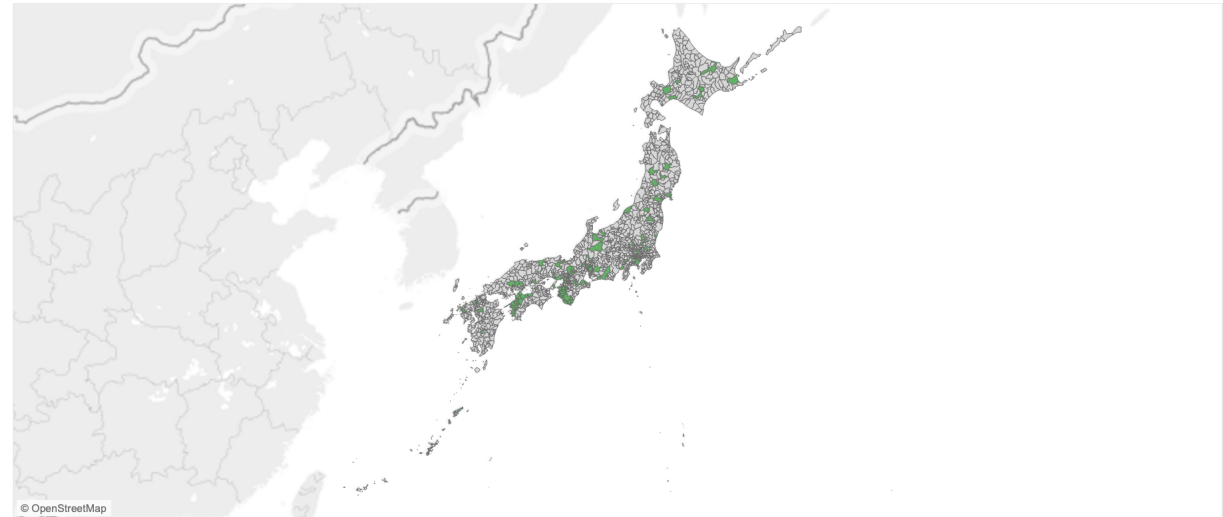
190 / 1,794



都道府県



市区町村



https://public.tableau.com/views/17632565399180/sheet7?:language=ja-JP&publish=yes&:sid=&:redirect=auth&:display_count=n&:origin=viz_share_link

QUESTION

“データは資産”
と言われる時代ですが、
データには他の資産と
全く違っている点が
あります。
それは何でしょうか？

DMBOK2：データライフサイクル

データが他の資産と
全く異なるのは、

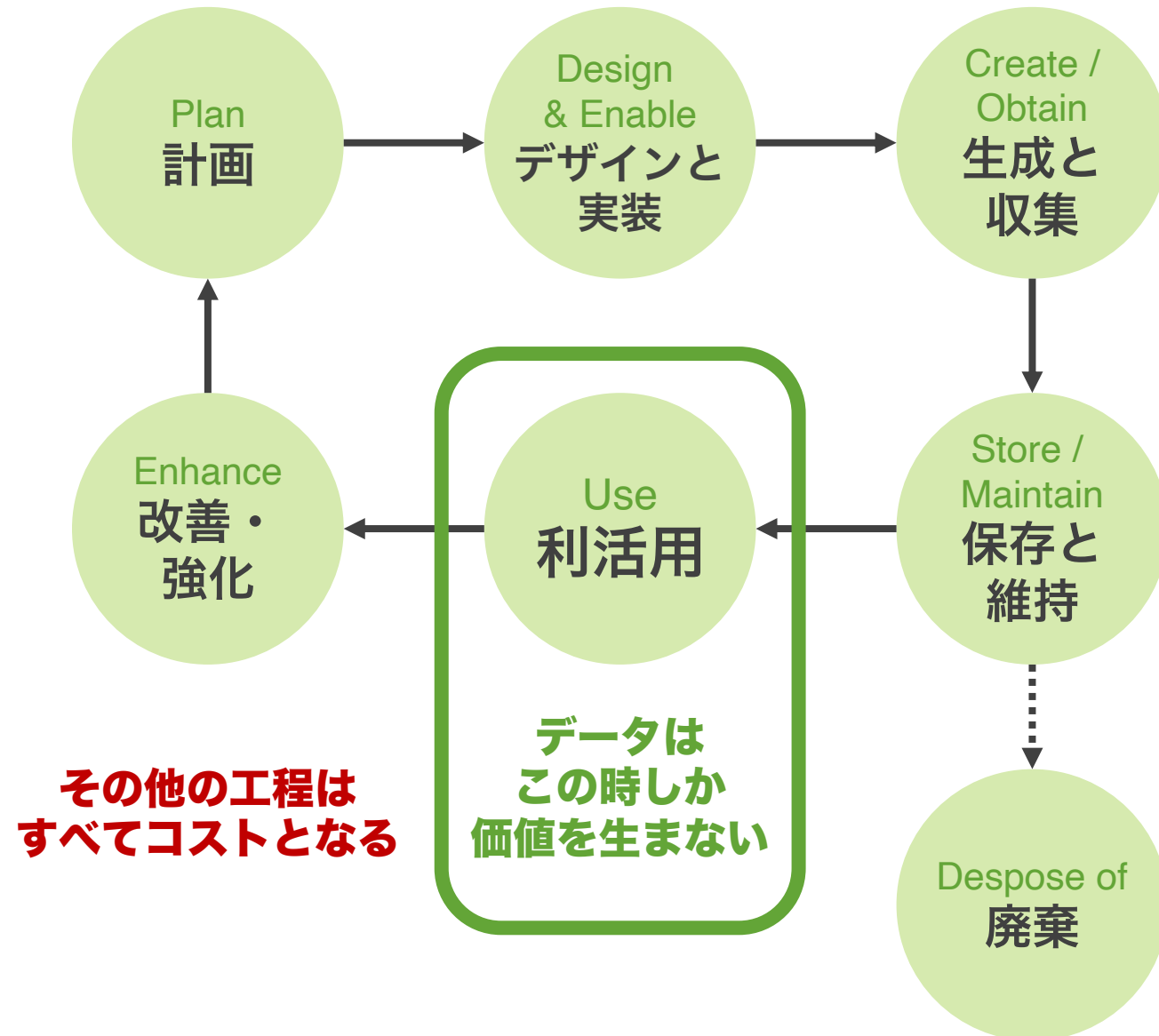
保有している
だけでは価値
は生まれない

という点

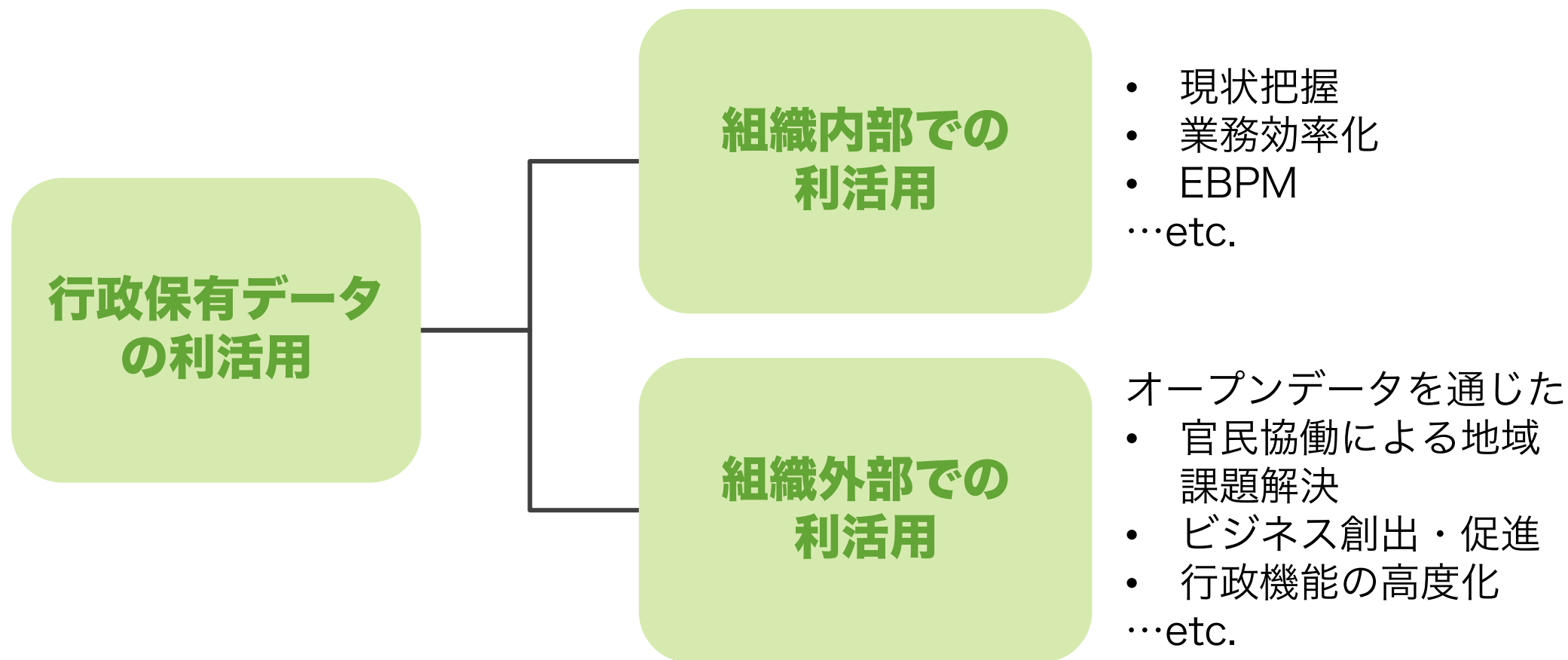
参考：

一般社団法人 データマネジメント
協会 日本支部

<https://www.dama-japan.org/Introduction.html>



行政機関の保有データを活用する方法 は大きく分けて2つ



オープンデータ 取組済自治体： 87.1%

ダッシュボード作成者：下山

https://public.tableau.com/views/5946/sheet0?:language=en-US&:display_count=n&:origin=viz_share_link

データ出典：CC BY 4.0 デジタル庁
> オープンデータ取組済自治体資料 >
オープンデータ取組済自治体一覧
(2025年8月28日時点)

日本のオープンデータ取組自治体

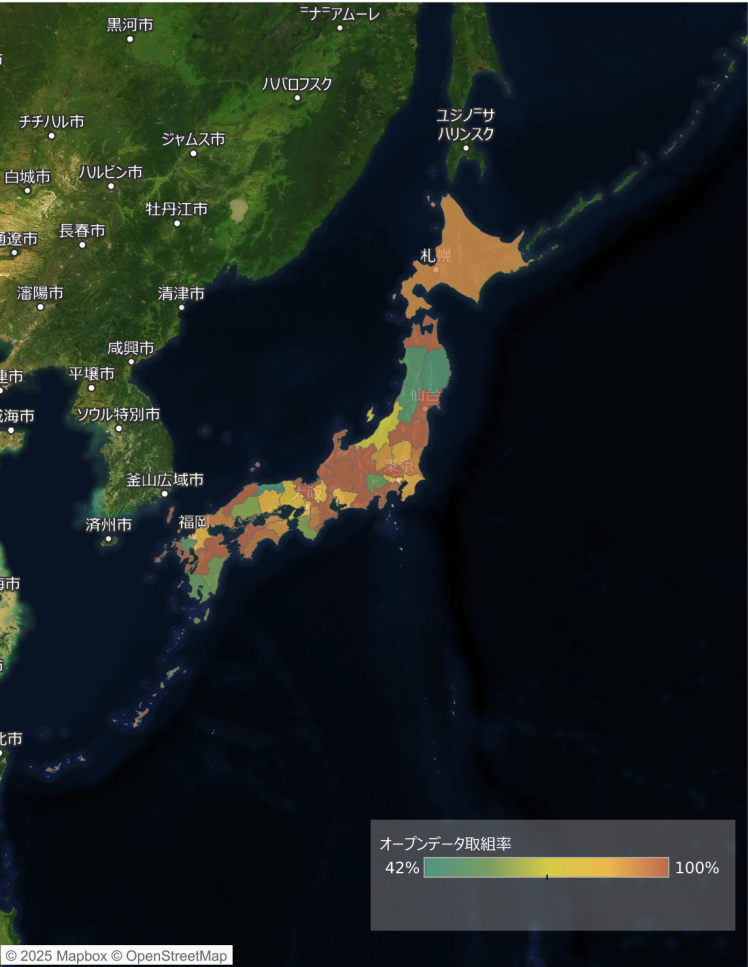
※基礎自治体単位でカウントしています

データ出典元：オープンデータ取組済自治体一覧（2025年8月28日時点）> 市区町村 (csv)..

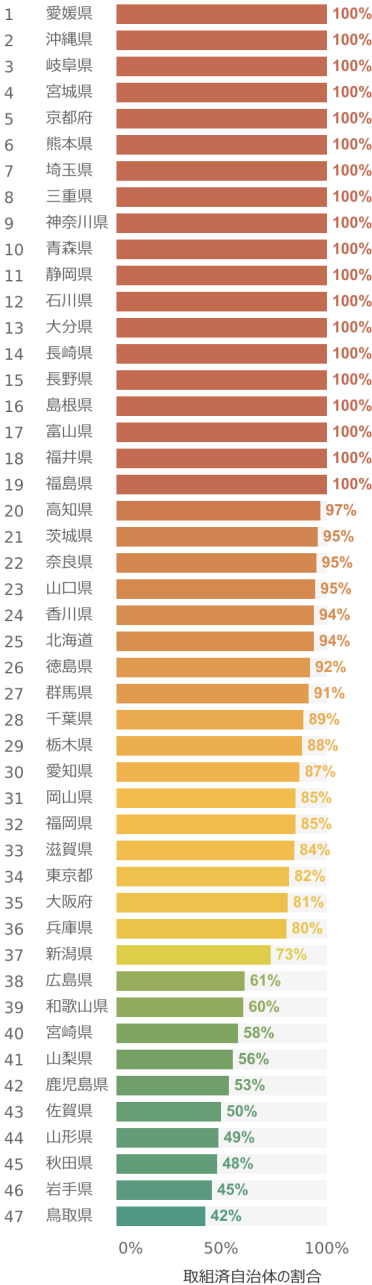
調査結果公表年月日
2025/08/28

1,517 / 1,741 自治体 (87.1%)

地図上の都道府県、または棒グラフをクリックすると、選択した都道府県の詳細が表示されます。



都道府県別オープンデータ取組率の比較



都道府県別オープンデータ取組済自治体数の比較



宇都宮 OPEN DATA LABO

■自治体オープンデータとAI・BIを活用し、地域課題や企業課題の解決に挑戦する実践型プログラム

■第1回目のイベントでは市内・県内の企業の会社員、自治体職員、大学生が参加し、17チームから課題解決サービスのプロトタイプが発表された

<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/hisei/johokokai/opendata/1039750.html>



オープンデータでハックする、宇都宮市のウェルビーイングな街づくり。

UTSUNOMIYA
OPENDATA LABO 2025
～宇都宮市のオープンデータを触って活かそう～

詳細・お申し込みはこちら！

<https://www.utsunomiya.lg.jp/opendata/>

Day1 2025.1/19(日) 10:00-16:30 Day2 2025.2/2(日) 10:00-16:30

開催場所 ▶ ライトキューブ宇都宮 (JR宇都宮駅直結) 定員 ▶ 30名程度 参加費 ▶ 無料

自治体オープンデータを活用し、地域課題／企業課題の解決に挑戦する、実践型プログラム。

実際の宇都宮市のオープンデータに触れながら、専門家の指導のもとでデータビジュアライゼーションやデータ分析、サービス開発のスキルを学び、データ活用を通じて新たな発見やアイデア創出を体験してみませんか？
地域課題解決 *官民連携・シビックテック* *データ利活用* に関心がある市民や企業の皆さま、ぜひご参加ください。

自治体 オープンデータを 活用した 産官民連携プロジェクト	データ利活用の 実践的な学びの場	AIを使った アイデア創発で 「人とAIとの共創」を 体験できる	成果物は宇都宮市の オープンデータ ポータルサイトに掲載 (参加者の方の許可が得られたもののみ)
--	---------------------	---	---

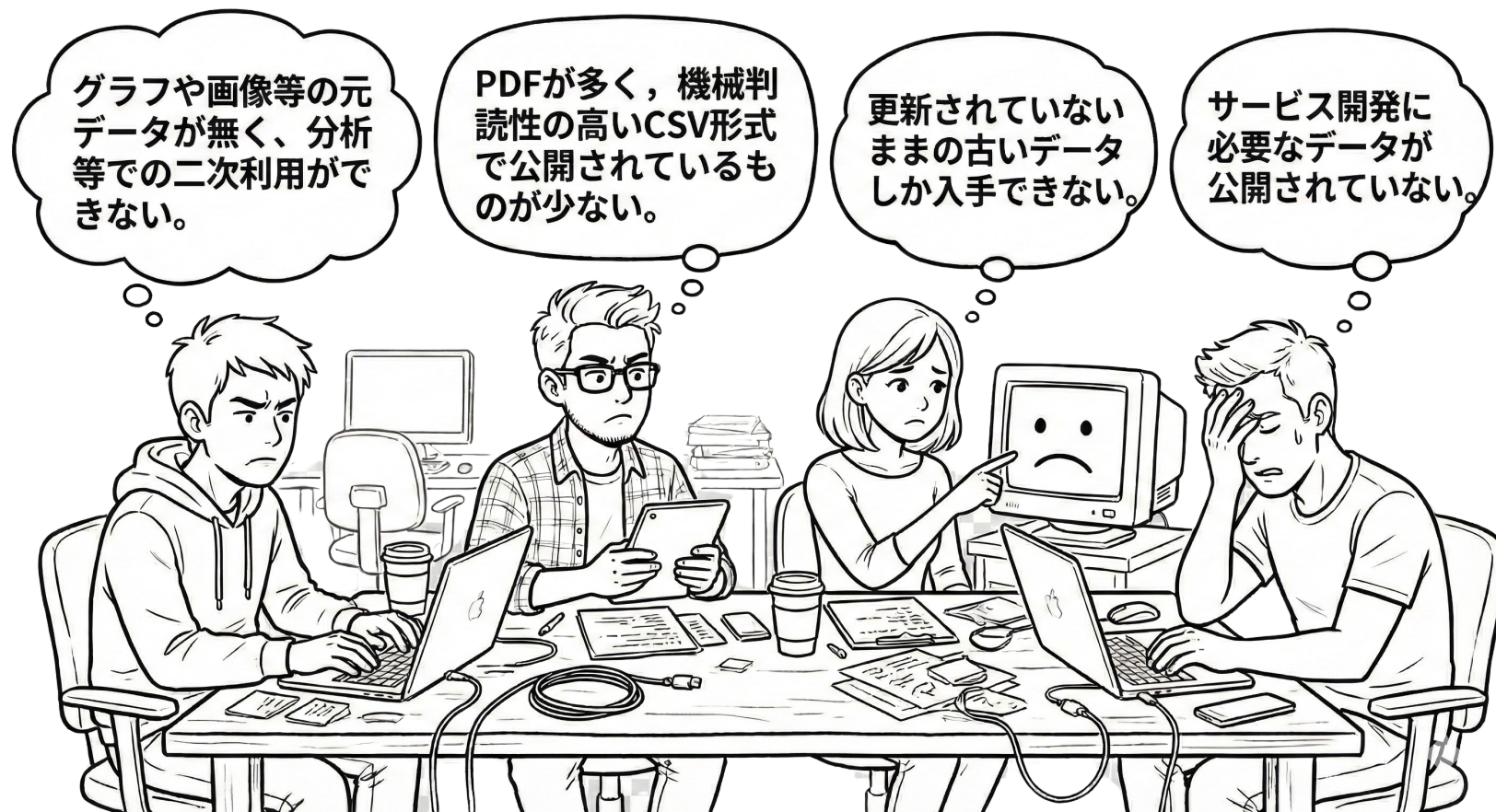
こんな方に
オススメです！

- ご自身のスキルを活用し、地域課題解決に貢献したいという思いがある方
- データ利活用に関心がある、学びたいという方
- 開発やデザインのスキルがあり、プロトタイプに挑戦できる方
- スキルがなくてもOK!! 手を動かして参加しようという意欲のある方
(特別なスキルがなくても、学びながらご参加いただくことが可能です)
- シビックテックに関心がある方
- 行政との共創に関心がある方
- 地域課題解決に関心がある方
- 自企業のデータを活用した課題解決に関心がある方
- 自企業のデータ利活用人材育成に関心がある方



OPEN DATA LABO参加者 からいただいた オープンデータ へのフィード バック

※抜粋した意見をNano Banana Pro
を用いてイラスト化しています



AIはデータ整備はしてくれない

- AIを活用するには学習対象のデータと処理対象のデータが必要
- 構造化されていないデータはそもそもコンピュータで読めない
- データに誤りや偏りが含まれていたら、AIの出力結果も当然間違いになる



日本は データ活用で IMD世界競争力 ランキング ほぼ最下位

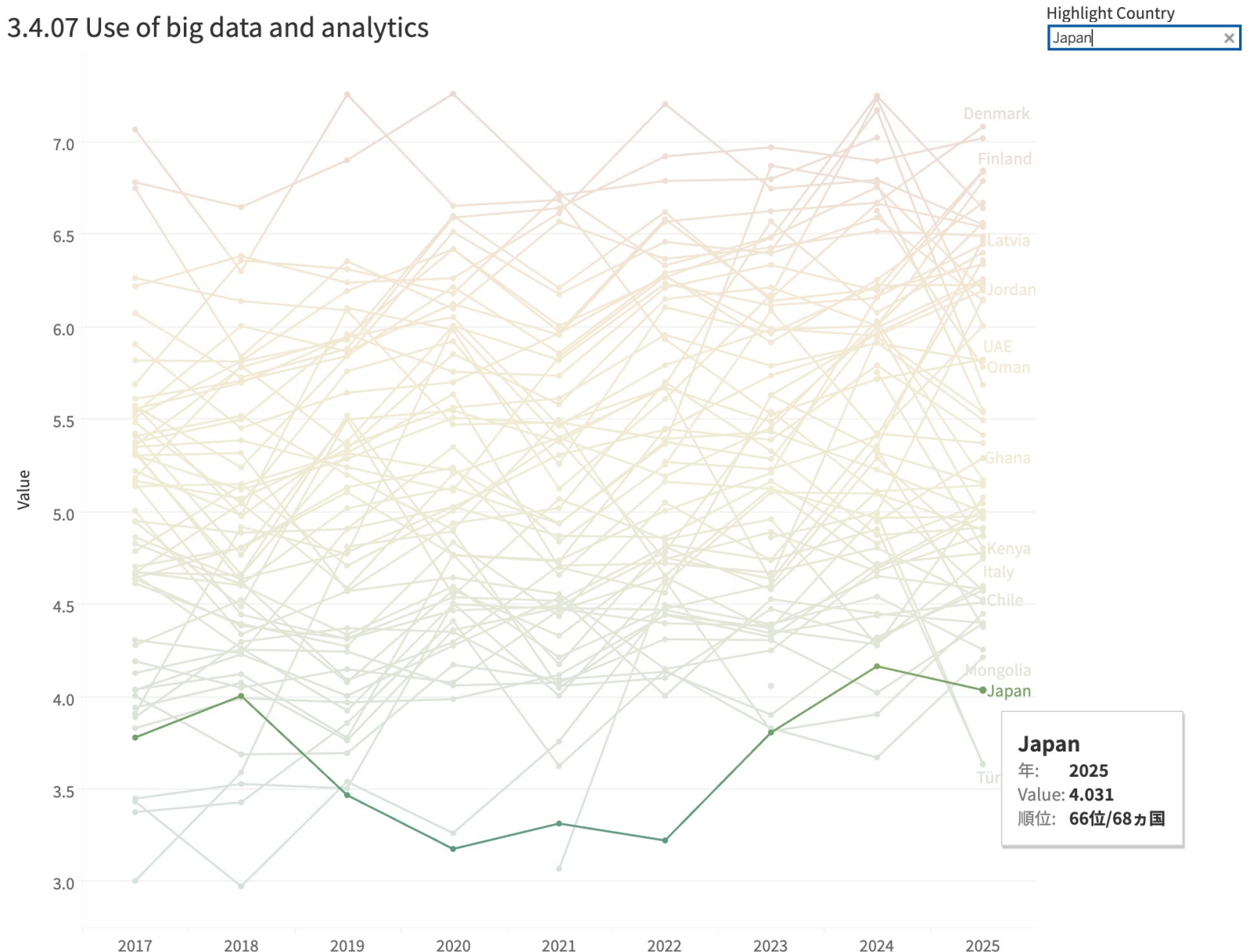
2025年6月にIMD (International Institute for Management Development) から発表された「世界競争力ランキング」において、「Use of big data and analytics（ビッグデータの活用と分析）」の評価項目で日本は世界68カ国中66位

https://public.tableau.com/views/IMD_16925180135680/IMD?:language=ja-JP&publish=yes&:display_count=n&:origin=viz_share_link

IMD世界競争力ランキング：「ビッグデータの活用と分析」の評価スコアの各国比較

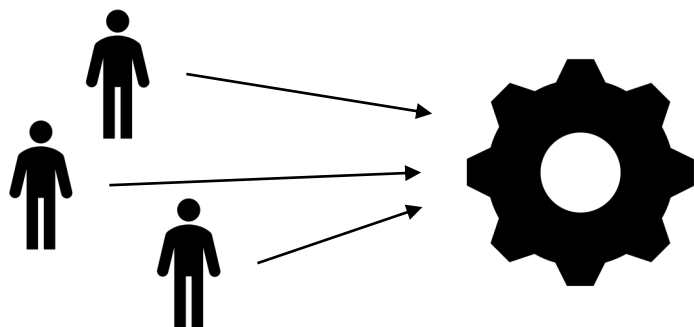
出典：IMD "The reference database on World Competitiveness"
<https://worldcompetitiveness.imd.org/>

3.4.07 Use of big data and analytics



データ活用で実現させたい 1人1人が尊重される社会

従来：人が仕組みに合わせる

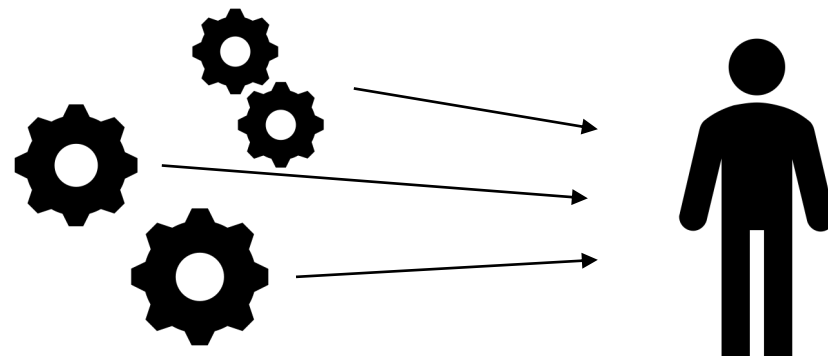


支援を必要とする人が申請をすれば
助成金がもらえる

公共交通の運行に合わせて行動する

トップダウンで説得して物事を決める

これから：仕組みが人に合わせる



支援を必要とする人をデータで特定
して助成金を振り込む

公共交通の運行をデータで最適化して
人の行動パターンに合わせる

みんなでデータを見て納得して決める